

臨時号

グリーン・ウェーブ GREEN WAVE

6/8 第十七期 通常総代会報告

発行●グリーンコープ生協ふくおか 理事会
編集●広報委員会
福岡市博多区博多駅前1-5-1博多博通ビルディング3F
TEL●092-482-7770 (代)
ホームページ●http://www.greencoop.or.jp/

グリーンコープのうねりを地域へ

「楽しむひろがるグリーンコープ」 一人ひとりが楽しく 活動をひろげていきましょう



▲あいさつをする三原理事長

熊本地震から1年が経ちました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被害を受けた皆さまへのお見舞いを申し上げます。今もなお被災された皆様が力と心を寄せ合い助け合っているのを感じます。グリーンコープとして今後も「生命(いのち)」に寄り添った支援活動を続けていくことを、総代会の場で誓い合いたいと思います。

本総代会では、グリーンコープ生協ふくおかで2014年度よりV字回復を遂げその後も続く組合員増と供給増の嬉しい報告をします。「地域に飛び出せグリーンコープ」「打って出る」の合言葉を確認した2014年度より組合員、職員、ワーカーが地域に飛び出し続け、利用普及活動に創意工夫をした結果です。また、自分たちのお店として検討し呼びかけられるお店作り特別増資には言葉に想いがあります。その結果予算も達成し、リニューアルしたお店や新設のキープ&ショップも順調に推移しています。

中でも新築オープンのお久留米南町店は予算をはるかに上回るスピードで黒字店へと転換しました。2017年度も、さまざまな計画が動いていきます。

グリーンコープの脱原発の取り組みは、原発フリーの電力を生み出す発電所作りをすすめるが、次の段階として、「原発フリーの電力供給を目指す」との呼びかけに至り、グリーンコープ生協ふくおかも、全域での電気の共同購入が始まりました。生命(いのち)と共存できない原発を止めるため、原発のない社会を目指すため、原発反対デモへの参加や署名運動だけでなく、電気の共同購入に参加することでその意思表示ができ、脱原発社会へと繋がります。多くの組合員が参加することで、原発のない未来への道筋をつくっていきましょう。

買物困難者支援、困りごと相談所、子どもの居場所づくり、せつけん首長メッセージなど行政との結びつきも強くなり、今ではグリーンコープならと相談や依頼が寄せられるようになってきました。地域生協化をますます進めていきましょう。

2017年度キャッチコピーは「楽しむ、ひろがる、グリーンコープ」です。まずは一人ひとりが楽しく活動をひろげていきましょう。

(理事長 三原 幸子)

来賓祝辞

福岡県

「グリーンコープ生活協同組合ふくおか」第17期通常総代会の御盛会を心からお慶び申し上げます。貴組合におかれましては、設立以来長きにわたり、相互扶助の精神の下、物資の供給事業や福祉事業などを通じて組合員の福利厚生の上昇に努められ、地域住民の福祉の向上に貢献されてこられました。三原理事長を始め、役員及び組合員の皆様の平素からの御尽力に対して、心から敬意を表します。

さて、貴組合におかれましては、平成20年度から県との協働により、多重債務を負う人々からの相談に対応するほか、家計診断から債務整理後の生活再生に必要な資金の貸付までを行う多重債務者生活再生事業に取り組みまれています。さらには、県内四地区において、生活困窮者の早期自立支援や家計相談、子育て世帯の二元的な相談対応にも、県の委託を受けて取り組んでおられます。そして、宅配などの日常業務において察知した一人暮らしの高齢者の異変を速やかに市町村に通報する「見守りネットふくおか」の活動にもご協力いただいているところであります。本県では、引き続き貴組合を始めとする消費生活協同組合などと手を携え、安全・安心のまちづくりを進めてまいりますので、今後とも御理解と御協力をお願いいたします。

最後に申し上げますが、貴組合の今後ますますの御発展と、本日御出席の皆様様の御健勝と御活躍を祈念しまして、私の挨拶とさせていただきます。



▲福岡県人づくり・県民生活部生活安全課課長 本田 航二さん

北九州市



▲北九州市子ども家庭局子ども育成担当部長 斎田 昌一さん

現在の日本では、全国的に核家族化の進行や共働き世帯の増加など社会状況が変化中、保護者が仕事を終えて帰宅する時間が20時以降という家庭も少なくない状況にあります。

このため、北九州市ではひとり親家庭や共働き家庭など、仕事等の理由で保護者の帰宅が遅くなる家庭の子どもを対象に、親が帰宅するまでの間、多くの人たちと触れ合える「子ども食堂(子どもの居場所)」を小倉北区日明と八幡東区尾倉に開設しました。

グリーンコープ生協ふくおかに、社会福祉法人グリーンコープとの共同事業体で、小倉北区の日明市民センターで実施している「日明けんきもりもりハウス(子ども食堂)」の運営をお願いしています。「日明けんきもりもりハウス」では、スタッフの皆さんがグリーンコープ生協ふくおかの安全安心で栄養価の高い食材を使用し、心を込めて作った温かい食事をみんな一緒にしています。保護者からは「以前よりも好き嫌いを言うことも少なくなり大変助かっている。」などといった声が寄せられ、全体的に料理を残すケースがかなり減り、大半の児童が「おかわり」をするようになりました。

また、北九州市立大学や西南学院大学、福岡教育大学の学生さんをはじめ、地域の方や地元小学校の先生も食事や子どもの見守りに参加していただいています。このように多くの方に支えていただきながら地域に根ざした活動をしている「日明けんきもりもりハウス」の運営モデルは、市内外を問わず子ども食堂に興味のある皆さんから注目されています。

今後とも、本市といたしましては、子ども食堂の活動を通じて、子どもたちが夢と希望を持って、健やかに育つことができる社会の実現を目指し、子どもたちの生活向上に向けて環境づくりをしっかりと行っていくためにも、グリーンコープ生協ふくおかをはじめ、地域や学校とともに連携しながら実現にむけて頑張っていきたいと思っております。

グリーンクラブ



▲グリーンクラブ支部長 松下 剛さん

本日は第十七期通常総代会の開催、誠にありがとうございます。

私たちがグリーンクラブはグリーンコープ様に商品を購入する業者の会ですが、本年4月時点で会員総数429社の会です。その中でふくおか支部は一昨年の県内3支部の合併を経て、同じく4月時点で171社が在籍しており、全体の約40%を占めております。これにエリア外の会員の希望参加であるサポーター会員が65社あり、あわせて236社となります。この236社はグリーンコープ生協ふくおかの応援団であるご理解ください。

さて、グリーンコープ生協ふくおका様は「地域に飛び出せ」を合言葉に、応援団の我々もびつくりするほど県内のあちこちから、いろいろな活動を展開され、新しい仲間づくりはもちろんです。グリーンコープ運動のアピールをすすめてまいります。

先日開催させていただきましたグリーンクラブふくおか支部会ではその活動の様子をご案内頂き、商品の取引を超えた市民、生活者の一人として共感共鳴したところです。来年はグリーンコープ連合結成30周年を迎え、更に組合員の皆さんがグリーンコープを実感できるような取り組みを計画されているとお聞きしています。私たちグリーンクラブも30周年をともに祝い、一緒に取り組ませて頂きたいと願っております。

グリーンコープ生協ふくおかのますますのご発展を心より祈念し、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。

